

## 内容

- 
- ・物件名：九品仏地区児童館保育園基本構想
  - ・件名：第2回検討委員会
  - ・日時：2023年12月12日(火)/場所：奥沢区民センター別館
- 

区委員：渡邊祐士（世田谷区子ども・若者部 副参事 児童施策推進担当）略称：（長）  
区委員：寺西直樹（世田谷区子ども・若者部 児童課長）  
区委員：伊藤祐二（世田谷区子ども・若者部 保育課長）  
区委員：井出野彰（世田谷区立等々力児童館館長） 以上略称（区委）  
地域委員：4名 略称：（地委）  
オブザーバー：私立認可保育園運営法人（一般社団法人スマイルキッズ）2名、  
等々力児童館職員2名 以上略称：（才保）・（才  
児）  
基本構想案作成受託設計者：(株)手塚建築研究所 略称：（設）  
事務局 略称：（事）  
議事内容

---

### 【1. 前回検討委員会の議事要旨確認】

- ・前回検討委員会第1回の議事要旨を確認。（事）

### 【2. 整備基本構想（案）の検討（検討委員会）】

- ・児童館と地域のコミュニティについて事例を含めての説明。（設）

#### （施設全体のビジョン、1階と2階の使い方について）

・施設としては、児童館と保育園であるが、地域に開かれた場所にし、子どもの居場所、地域の方の居場所を魅力的につくることが重要。（設）

子どもたちの居場所をどうつくるかは国でも検討がなされているテーマである。

（長）

・保育園は性質的にセキュリティを守る必要があることと、プライバシー配慮の目隠しシートは圧迫感のある印象なので1階に誰でも入れる児童館が良いのではないかと思う。（地委）

施設全体の特性としては、地域に開いていきたいと考えている。（長）

2階で運営している保育園もあるため、現実的には成立する。ただし、2階で預ける際に広いベビーカー置き場があることが望ましい。また、園庭を利用する際に園児が毎日階段を上り下りすることについては、何か方法を考える必要がある。（区委）

#### （地域に開くことについて）

- ・多世代間の交流については、今の児童館では何か行っているか。（長）

等々力児童館は2階が地区会館なのでお年寄りも施設に来ているが、日常的に1階の児童館に来ることはない。児童館職員がセキュリティ対策をしている。行事では多世代交流をしている。（区委）

保育園では何か行っているか。（長）

老人ホームに行くことや、学生の保育体験を受け入れている。保育園の性格上、自由な出入りはできないため、時間と場所を設定し、出入りする人を制限している。（才保）

・公園のトイレについても、1階に設けることで施設への入りやすさが上がるのではないかと考えている。（長）

・これまでは一つの目的で施設整備を行ってきたが、これからは使い方も変わり、色々な人や世代が使えるものを目指している。限られた空間をどうシェアするかも重要。長い目で見た時に多用途に応えられるもので、余白が大事だと思う。設計事務所のプレゼンされた建物には余白がある。（長）

何となく一緒に空間を共有しているだけで、地域で見守る雰囲気づくりになっている。(設)

何となく施設に行くための、設計上の工夫はあるか。(設)

半外部の空間が大事である。雨に濡れない軒下は行きやすい。(設)

・地域に開く際に、子どもの保護者としては何か意見はあるか。(長)

いきなり地域交流は難しいのではないかと感じる。貸出スペースがあるなど、施設に来るきっかけがあると良いのではないかと。(地委)

過去に施設を利用した際、他の利用者へ配慮をするように案内された。他者に配慮しながら共有することが大事。以前は、地域の憩いの場だった処が、大人が利用するようになり、子どもが入ると注意されるようなこともあった。その状況は良くないと思う。

(地委)

「児童館」だと子ども以外は入りにくく、誰でも入れる場合は、受け手が都合よく受け取ってしまう。(地委)

公園で年少の子どもを遊ばせていても、うるさいと思われるように感じることもある。信頼関係がないと、他人に子どもを預けて遊んでもらおうとは思えない。(地委)

児童館は出入りが自由で、保育園は身元のはっきりした限られた人が来る場所と、特性が違うが、場所や事柄が認知されることが重要である。(地委)

座椅子など寄りかけられる場所があるだけでも、お年寄りに対する居場所のアピールになり得る。(地委)

子どもの家庭事情も様々で、子どもからお年寄りまでが使える環境は重要。(地委)

・この施設は子どものための施設であることが第一だが、多世代にどこまで開くかを計画に盛り込むべきか。(長)

イベントや貸し出しなどは、運営側の工夫で対応できるため、多世代に開くとしても部屋を小分けにしたくない。(区委)

児童館と保育園の両方が、我慢なくメリットをシェアできるようにしたい。(長)

階できっぱり分けなくても成り立つのか検討が必要。(区委)

15日の説明会では入居する施設のビジョンを説明する。(長)

児童館としては、1階にある方が地域に開かれた施設になると思う。(区委)

区が運営する建物に保育園が入居するため、建物のオーナーとして区がやらないといけないこともある。(諸室の配置については)継続して検討が必要。(伊藤)

児童館としては、日々点検がたくさん来るため、1階が管理しやすいのは確かだが、1階でも2階でも構わない。(区委)

朝と夜のお迎えの際に、2階だと階段の上り下りがあり、安全性に懸念がある。また、子どもたちに園庭を使わせてあげたいため保育園も1階にあることが理想的。

(オ)

現状の奥沢西保育園は2階の屋上も利用しており、屋上にいることでの(目線が気になる等の)近隣等の声はいただいている。(区委)

スマイルキッズ内で、遊具や園庭の基準はあるか。(長)

特に基準はないが、遊びは自由が基本と考えていて、力いっぱい端から端まで走り回れる環境を作ってあげたい。(オ保)

砂場での水を使った遊び等、色々な砂遊びをして手先の感覚や五感を養えるようにしたい。(オ保)

敷地内の面積は限られている。隣の公園の使い道も含めて、メリットデメリットをまとめ、工夫を考えていく必要がある。引き続き議論していきたい。(長)

・屋上で園庭の場合、荷重が増すが問題はないか。(長)

対応できるがコストはかかる。(設)

財政が厳しいが、子どもの施設としてしっかり整備する方法を考えていきたい。

(長)

(コンセプトについて)

・区としては、木質化と省エネも入れられればと考えている。(長)

公園と施設の間はメッシュフェンスであるが、大きな壁がある印象。(地委)  
入口と出口は近隣の方も気にするところなので、今は検討中だが、現案の場合、北側にベビーカー置き場、駐輪場も必要。(長)

地域の人には変えられないことは、変えられないとはっきり言うべき。地域の人が想像を膨らませてしまい、完成時に失望してしまうことがある。(地委)

深い軒や広い軒下のように、具体的な建物の構造に関わるものは避け、地域に開かれているということコンセプトにするべきではないか。(長)

公園管理事務所との話がスタートしていないので、「公園とのつながり」は下の方が良いのではないか。(区委)

過度な期待をしてしまうかもしれないため、書かなくても良いのではないか。(地委)

公園緑地課との調整も必要なため、中間説明会で言及するかは区内で検討する。(長)

3つ程度に絞り、覚えられやすい文字数にしてはどうか。(地委)

子どもの視点で考えると、どのようなコンセプトが考えられるか。(長)

行きたくなる児童館が良い。わくわくしたりどきどきするもの。(地委)

前回の検討委員会で出た「自分が育ったと誇れるもの」が良い。(地委)

のびのびできたり、自分の家のように安心できる「ぼくとわたしのいいおうち」といった居場所をイメージさせるものが良い。(オ保)

居場所は重要なキーワードとなっている。(区委)

子どものための場所ということがメインのコンセプトであるべき。多世代交流をどのように盛り込むかは検討が必要。12/15までにイメージを候補として挙げる。児童館としては、「地域の子育て支援の拠点」が念頭にある。(長)

児童館は、「遊びの宝箱」のような場所だと思っている。(オ児)

### 【3.基本構想(案)中間説明会について(事務局より)】

・中間説明会を12/15に開催予定で、案内を近隣の方にポスティングした。お話ができた方もいらしたが、お会いできない方もいて、今後丁寧な説明をしていく。(事)

・ワークショップの日程が確定した。八幡中学校が12/11(月)、九品仏小学校が12/22(金)、八幡小学校が1/11(木)で、それぞれ児童館職員が担当し行う。(区委)

・配布用のアンケートQRコードを作成したので、確認いただきたい。(事)

小学生に対しても、QRコードのみの配布は不親切ではないか。(地委)

承知した。配布方法について持ち帰り検討する。(事)

アンケートは校長先生等に直接お願いをする予定。(地委)

・ふじようちえんとPLAY!の見学会は1/11(木)、1/24(水)で調整している。(設)

1/11の午後はワークショップがあるため、1/24の方が都合良い。(地委)

### 【4.次回へ向けて】

・次回第3回検討委員会は、1/31(水)10~12時で九品仏まちづくりセンター2階にて開催予定。(地)

以上